

# 特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

## 令和4年（2022年）度 第3回理事会議事録

1. 日時：2022年11月11日（金） 午前10時30分～11時45分

2. 会場：サブリ村野 環境保全研修室

（特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク事務局会議室）

3. 理事総数：13名

4. 出席者数：出席13名（本人出席：11名、委任状出席：2名、欠席0名）

（井上理事、市山理事、大石理事、兼瀬理事、小出理事、末岡理事、谷崎理事、  
豊高理事、増本理事、松田理事、丸井理事、柳谷監事）

5. 議 題：・中間事業報告

・上期予算執行状況

6. 議事経過及び結果

- (1) 本日の理事会は、定款第36条に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。
- (2) 定款第35条の規定に基づき、井上理事が議長に就任した。
- (3) 定款第39条第6項の規定に基づき、議長が議事録作成人に事務局、議事録署名人に末岡理事、豊高理事を指名した。
- (4) 「中間事業報告」および「上期予算執行状況」について、丸井理事が概要の説明を行った。  
末岡理事から、モビリティマネジメント事業について補足があった。
- (5) 「中間事業報告」および「上期予算執行状況」について質疑応答がなされた。

### ※質疑応答の概要

兼瀬：先日東部清掃工場でリユースの取り組みを行った。大量の品が持ち込まれたが全部再利用された。環境情報コーナーでもリユースコーナーを設け取り組んでおられるが、事業の概要・実態を聞かせてほしい。

丸井：そもそもが「ごみ減量アイデアコンテスト」を行った際の「いつでも再利用してもらえるような場所があればいいのに」という市民の声からスタートした。温暖化対策チームで話し合いを重ね、“何でも”という訳にはいかないが、子供用品に限定して取り組むこととし、“3つの約束”、登録制という事で実施している。非常に好評である。

松田：会計処理について、前回は意見を出したが、活動計算書の「差異」の欄の表記に

ついて、差異を＋とするか、－とするかの表記が収入欄と支出欄で違うがなぜか。

丸井：収入欄は－表記をすることで、予算額にまだどれだけ未達なのかがわかるように。

支出欄はプラスの箇所は予算に対してどのぐらいのゆとりがあるか、－の箇所は予算オーバーしているという事がわかるように表記している。

松田：監査は、この活動決算書で受けておられるのか。もしそうなら、支出欄の「(A)－(C)、(B)－(C)」という計算式はおかしいのではないか。

丸井：監査はこの活動決算書で受けている。

松田：行政に出すのもこれなのか。

丸井：行政へは決められた書式に則り、経常費用と管理費に分け、それぞれ人件費、そしてその他の経費として消耗品費、レンタル料、会議費、旅費交通費等、費目別に費用計上した形で作成している。

松田：では監査もそれで受けるべきではないか。

末岡：運営委員や会員にとっては、提示していただいている形が、各事業の予算執行状況がどうなっているのか分かり易い。なので、現在のような形式の活動決算書にいただいているのだと思う。

松田：そういうことなら、両方を添付して監査を受けられてはどうか。

井上：いろいろと貴重なご意見をいただき感謝する。いったん持ち帰り整理し検討させていただきます。

## 7. 閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。(11時45分)

上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人2名が、次に記名押印する。

2022年11月11日

特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 理事会

議 長 井上 浩一 ⑩

議事録署名人 末岡 妙子 ⑩

議事録署名人 豊高 勝 ⑩